
長中魂



平成28年9月30日(金)

第15号

伊豆の国市立長岡中学校だより

文責 守野 和弘

H28年度 全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月に3年生が行った「全国学力・学習状況調査」の主な結果についてお知らせいたします。

【学力調査について】(県・全国平均を上回っていれば○、ほぼ同じならば◎、やや下回っていれば△、大きく下回っていれば×)

科目	県平均比較	全国平均比較
国語A(主として知識)	△	○
国語B(主として活用)	△	◎
数学A(主として知識)	◎	◎
数学B(主として活用)	◎	◎

<国語の分析>

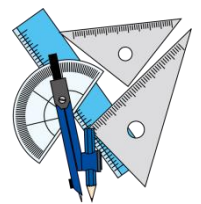


「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」各領域について、A問題(主に知識)では、どれも全国平均とほぼ同じであるが、県平均よりもわずかに下回った。B問題(主に活用)では、「書くこと」については県とほぼ同じであり、全国平均を上回っている。「読むこと」については県平均よりわずかに下回っているものの、全国平均を上回っている。

内容的には、「文章の展開に即して情報を整理して内容を捉える」「文章の展開について自分の考えをもつ」ことはできているが、「与えられた情報から、目的に照らして自分に必要な情報を読み取り判断する」「文章を読んだ後の疑問から調べる課題をまとめる」「互いの発言を検討して自分の考えを広げる」ことなどがややできていない。また、既習の漢字のうち、日常的にあまり使用しない言葉は読むことができても書くことができていない。

<数学の分析>

「数と式」「関数」の領域では、A問題、B問題ともに県・全国平均を上回った。「図形」「資料の活用」の領域では、A問題では県・全国平均を上回っているが、B問題については全国平均を上回っているが県平均はやや下回っている。



「数と式」では分数、小数の乗法、括弧つきの加法・減法、式の変形などよくできているが、文章にある数量関係を式に表すことができていない。「関数」では式からグラフに表すこと、逆にグラフの傾き・切片等から式を導き出すことはできているが、具体的な事象を示したグラフから傾きの意味するものを読み取ることができていない。「資料の活用」でも、グラフなどの与えられた情報から必要な情報を選択して、数学的に表現することができていない。「図形」では、平面図形や立体図形の基本的な性質の理解はできている。しかし、それら性質を組み合わせ思考し、論理的に答えを導いたり証明したりしていくのが苦手である。

【今後の取り組みについて】

<国語>では、情報リテラシーの単元を中心に、より効果的に情報を判断したり、批判的に読み取って自分の考えを表現したりする等の学習を充実させていく。漢字は、読書の充実や漢字練習等、読み書きする機会を増やす。

<数学>では、全領域で、具体的な事象を課題として提示し、数量関係や図形に気づかせたり、学習した内容を具体的な事象に活用したりする学習を増やしていく。さらに図形では、証明での仮定と結論を明確に記述させ、見通しをもたせて行わせる。



【学習状況調査について】（県・全国平均を上回ってれば◎、ほぼ同じならば○、やや下回ってれば△、大きく下回ってれば×）

項目	県平均比較	全国平均比較
国語への関心等	◎	◎
数学への関心等	◎	◎
総合的な学習の時間への関心等	◎	◎
規範意識	◎	◎
自尊感情	◎	◎
言語活動・読解力	◎	◎
生活習慣	○	○
学習習慣	◎	◎

- ◎「国語への関心」・・・「国語の勉強が好き」「国語の授業が大切」「国語の授業の内容がよく分かる」と答える生徒が県・全国の割合より大きく上回った。
- ◎「数学への関心」・・・については、「問題が分からないとき、諦めずにいろいろな方法で考える」「問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える」と答える生徒が県・全国区よりも上回った。
- ◎「総合的な学習の時間（以下、「総合」）への関心」・・・で「総合の勉強が好き」「総合で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つ」「調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる」と答える生徒が県・全国を上回った。
- ◎「規範意識」・・・「学級で、友だち同士で話し合っって学級のきまりなどを決めている」「自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いを付けたりして話し合い、意見をまとめている」「学校の規則を守っている」と答える生徒が県・全国を大幅に上回った。
- ◎「自尊感情」・・・「自分には、よいところがあると思う」生徒の割合が、県・全国を上回った。「学校に行くのが楽しい」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と答える生徒は県・全国を大きく上回った。
- ◎「言語活動・読解力」・・・「授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」と答える生徒の割合が、県・全国よりも大きく上回った。
- 「生活習慣」・・・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」生徒は県・全国よりも上回ったが、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」生徒は県・全国よりも若干少なかった。「午後10時より前に寝ている」と答える生徒も、「午前0時以降に寝ている」と答えた生徒も県・全国より多かった。
- ◎「学習習慣」・・・「授業以外に、普段、1日当たりどれだけ勉強するか（塾も含む）」については、県・全国の勉強時間よりも多かった（3時間以上：約21%、2時間以上：約25%）。「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で学校の宿題をしている」と答える生徒は県・全国よりも多かった。



【今後の取り組みについて】

「授業を大切にする」「人権感覚を大切にする」「生徒に親身に関わる」を職員の合い言葉として日々の教育実践にあたっている。このことが生徒の「自尊感情」を育む一因となっていると考え、今後もさらに徹底・充実させていく。

また、「長中魂」の「た・ま・し・い」について個人で、学級で、学年で、生徒会全体で考え、生徒一人一人が長中生として誇りをもって行動をとることを意識して生活していることが、「規範意識」を涵養していると考え、今後も教員・生徒共々「長中魂」を大切にしてい

く。「生活習慣」「学習習慣」については、今後も丁寧に指導していくと共に、保護者と連携・協力しながら取り組んでいく。

